

悩みにも暮らしにも寄り添い続ける もの作りを目指す。

JR大阪駅から一駅のここ天満は、かつては多くのガラス工場が集まっていたガラスの街。キプロ株式会社の母体の会社も約70年前にこの地で創業し、ガラス製造の原料を扱う商社として商いを続けてきました。その原料調達の強みを生かした新規事業を担う会社として、1997年同社が誕生しました。

昨年、class A 仕入れマーケットに登場した HOLO(ホロ)は、2019年12月から本格的に企画がスタート。プロダクトマネージャーの貫井暢彦さんは、この仕事を担当することになり、自身も長年アトピー性皮膚炎で皮膚科通いを続けてきた経験から、まずは敏感肌の人が使え、保湿クリームを作りたいと考えたそうです。その頃生まれたお子さんも肌が弱く、皮膚トラブルの悩みを何とか解消し



class A 仕入れマーケットで取り扱っているHOLO ピュアソープ(左) とピュアクリーム

たいという思いは、よりはっきりとしたものになりました。

さて、まずブランド名である HOLO の由来を尋ねると、親会社の創業が珫瑯(ほうろう)事業だったこともあり、「珫瑯」と「すべて、安全な、健康な」を意味する「holo」を重ね合わせて付けた名で、マークには悩みを持つ人の心と体を笑顔にしたいという想いが込められているそうです。

珫瑯は金属とガラスで作られる、歴史的にはかなり古い素材です。一時は生産量も減っていましたが、独特の風合いや安全性からも今改めて見直されています。珫瑯の、技術を後世へと受け継ぎ、つないできたという歴史そのものも、キプロの考える自然を守り、次世代へつないでいくという考えと合致し、HOLO は

誕生しました。

「悩みを持つ人に寄り添い、さらには暮らしをより豊かなものに、というのが私たちの想いです。機能が良いだけではなく、身近に置いておきたいと思っていただけるもの、好きになっていただけるものを作っていきたいと考えています」と貫井さん。

class A の新マーク「元気応援薬局」に込められた、健康はもちろん、その先の元気な毎日につながる生活を応援していきたいという想いと通じるところがあるのでは。

保湿クリームは、「角質層を育てる」という発想から、より良い肌フローラの状態を作り出すために、乳酸菌とゆずという2つの成分を軸に開発が進みました。



止々呂美のゆず畑

食品のイメージが強いゆずですが、古来より、その有用性から生活のさまざまな場面で使われています。種皮にはビタミンCやヘスペリジンが多く含まれているほか、種子のオイルの有用性についても研究されています。

かつて化粧品会社にいた経験をもとに、試行錯誤の日々が続きました。肌に悩みを抱える多くの人にもモニターとして協力してもらいました。今では、肌の乾燥や荒れが気になるなどさまざまな肌質の幅広い年代の方にご利用いただいているそうです。そうしてでき上がったキプロの第一号商品HOLO ピュアクリームには、肌フローラのバランスを整える働きを持つ乳酸菌 EC-12や、角質層のバリア機能維持に関わるスフィンゴ糖脂質、そしてゆず果実水が30%以上配合されています。

ゆずは、大阪の箕面市に美しい自然が



残る止々呂美というゆずの産地があり、そのゆずが使われています。箕面のゆずは、日本三大実生ゆずの1つで、品質の高さから料理人たちの間でもとても人気があり、香しさはもちろん、大きな実も特長です。市場の多くのゆずが早く収穫できるように接ぎ木で栽培されているのに対し、実生ゆずは種から育てているので、実がなるまでに18年もかかるといいます。

ゆずの収穫時期の11月には、貫井さんたちも収穫の手伝いに行きます。ゆずの木は大きく、棘も大きいため作業も大変です。少しでも生産者の方の力になればと手伝いに行くのですが、大変ながらも、ゆずの香りに包まれて、本当にリフ

商品の仕入れはclass A仕入れマーケットでご利用には会員登録が必要です。会員特別価格で仕入れられます。新規会員登録は<https://www.classamarket.net/register.php>から。

レッシュし、ゆずの力を改めて実感するそうです。

保湿クリームに次いで商品化されたのは、同じく敏感肌の人にとって重要な肌を洗う石けんです。洗浄剤自体で肌を傷めてしまつては元も子もないので、刺激から肌を「守る」ことを目指して作られた、純石けん成分だけのHOLOピュアソープです。

商品ができてくると、どうやってそれを売っていくかが次の課題になります。最初は手探りで、主に百貨店などのPOP UPストアに出店して、少しずつファンを増やし、同時にそういった場所でお客さまの声が聞けたことも大きな収穫だそうです。何より、商品を直接説明して試してみただくことの大切さを実感した、と貫井さんは言います。

そういった意味で保険薬局は格好の場。「薬局には肌にトラブルを抱えている方もいらしていると思うので、直接ご説明いただければ良さが伝わると思っています。クリームはとにかく香りがかいでもいただきたいですね。お風呂上がりにはクリームを塗ることで、ゆずの香りに包まれて、本当に気持ちリフレッシュします。眠る前に使用するのもおすすめです。肌のことだけではなく、そういった香りからのアプローチもしていただけると嬉しいです」と貫井さん。

開発中の商品はまだまだあるとのこと。新しく登場する仲間も含め、同社の商品がどのように暮らしを豊かにしてくれるのか楽しみです。

(撮影：篠田英美)